

議案1 2018年度活動実績

1. 一般家庭におけるヨード摂取状況調査の実施

① 問題点

これまで妊婦の出産時のヨード欠乏を問題の焦点にして、欠乏妊婦に十分なヨード補給をすることにより、ヨード欠乏のない健康な新生児を産んでもらうことを期してプロジェクトを推進してきました。昨年度にはプロジェクトに参加いただいた母親の何人かにインタビューする機会に恵まれ、健康にすくすく育っている児童とも会い、ヨード補給の効果を確認してまいりました。

一方、下記の表にありますように、妊婦の限られた集団であるが、ヨード欠乏者が徐々に減少方向にあるのに、ヨード摂取が必要以上に多い妊婦が年々増加傾向にあり、欠乏者の2倍以上になっていることに、問題の危機感を感じています。

Table 1 妊婦の尿中ヨードの濃度検査の推移状況

ヨード濃度 (µg/l)	Number (n=89)2016	%	Number (n=91) 2015	%	Number (n=100)2013	%
欠乏(<150)	16	18.0	23	25.2	27	27.0
充 分 (150-249)	27	30.3	29	31.9	17	17.0
必 要 以 上 (250-499)	46	51.7	39	42.9	25	25.0
超 過 (≥500)	0	0.0	0	0.0	31	31.0

② ヨード添加塩の品質調査 (単位 mg/100g=10ppm/g)

Table2 食塩のヨード濃度の品質分布

ヨード濃度	頻度	%	ヨード濃度	頻度	%
3.0~3.5	5	6.0	6.0~6.5	7	8.4
3.5~4.0	6	7.2	6.5~7.0	5	6.0
4.0~4.5	11	13.3	7.0~7.5	3	3.6
4.5~5.0	7	8.4	7.5~8.0	5	6.0
5.0~5.5	14	16.9	8.0~8.5	2	2.4
5.5~6.0	9	10.8	8.5~24	9	10.8
			計	83	100.0

平均値 6.207mg/100g 標準偏差 3.036mg/100g 品質基準値 5.0

実施場所 Rama Devi Secondary SchoolSangachowk, Sindhupalchowk Nepal

実際に家庭で使用しているヨード添加塩のヨード濃度 5.0mg/100g=50 µ g/l の品質であるべきなのに、平均 6.2mg/100g =62 µ g/l となり、かなりの過剰濃度で、バラつ

きも大きいことが、品質管理のずさんさも予想される。過剰摂取の大きな要因となろう。

③ ヨード添加塩家庭使用実態調査(2018年度)

実施場所 Chautara Sangachowk, Sindhupalchowk Nepal

Table3 食塩の購入行動

購入頻度	Number (n=66)	%	1回の購入量	Number (n=66)	%	家畜用食塩	Number (N=64)	%
毎月	61	92.4	1Kg	39	59.1	人間と同じ	14	21.9
半年毎	1	1.5	2Kg	18	27.3	人間と異なる	37	57.8
随時	4	6.1	3Kg	6	9.1	供給せず	13	20.3
			3Kg以上	3	4.5			

「試算」

- 一回の購入量平均 1.59Kg
- 一日一家庭使用量 $1.59\text{Kg} \div 30 = 53\text{g}$
- 一日一家族使用量 $53\text{g} \times 37/66 = 29.7\text{g}$
- 一日一人使用量 $29.7 \div 5\text{人} = 5.94\text{g}$ (政府想定基準 5g)
- 尿中ヨード濃度期待平均値 $5.94\text{g} \times 62\mu\text{g/l} = 368.28\mu\text{g/l}$

食塩の使用量もやや高く、2016年度の妊婦の尿中ヨードが必要以上(250~499 $\mu\text{g/l}$)の人が51.7%となるデータは納得の範囲である。

食塩使用量の多さも、ヨード摂取過多の一因と思われる。これは、政府のヨード添加塩の普及のためのPRがラジオや保健婦、学校を通して徹底しつつある結果かもしれない。摂取量の制御、抑制には学問的知識、理解度の問題が絡んでくる。

Table4.ヨード添加塩とヨード欠乏症に関する知識調査(2018年)

知っている	N (%)	使用期間	N (%)	ヨード欠乏症知っている	N (%)	ヨード欠乏症内容	N (%)
はい	51 (77.3)	1~5年	10 (15.2)	はい	23 (34.8)	甲状腺腫	22 (95.6)
いいえ	15 (22.7)	6~10	30 (45.5)	いいえ	43 (65.2)	機能障害	7 (30.4)

		10年~	26 (39.3)					
--	--	------	--------------	--	--	--	--	--

まだヨード添加塩を使用しはじめて10年ほどで、その知識や欠乏による症状もまだまだ十分とは言えず、食塩の抑制心が働くことは余り期待できないと思われる。

Table5 生徒の尿中ヨード濃度の検査状況

2. 助成金団体の開拓

これまで公財)大阪コミュニティ財団を中心に助成金援助をいただいていたが、諸般の状況により、チャンスを広げるため、新規開拓し次の団体に申請のチャンスを得たが、まだ、確保の見通しは厳しいものがあった。

- ① LUSH JAPAN チャリティバンク 3月否決
- ② TOTO 株式会社 総務部 3月否決
- ③ 毎日新聞大阪社会事業団 3月 可決
- ④ 日本財団国際事業部 随時 6月決裁予定
- ⑤ 独立行政法人国際協力機構 (JICA) 国内事業部 7月決裁予定

3. ネパール大地震被災地 救援の WASH プロジェクトは実施しませんでした。

4. 会員あいさつ品としてカレンダー2019 発送いたしました。

5. 機関紙「SENID ニュース」 発行 (9月)

以上

議案 3. 2019 年度活動計画

1. 妊婦に対するヨード補給と栄養・生活教育

- ・場所 国立チヨウタラ病院（シンズーパルチョーク郡）
- ・妊婦 100 名
- ・内容 尿中ヨード濃度検査（妊婦、一部新生児）
栄養・生活教育
ヨード補給のための昆布ミネラルカプセルの供給
- ・テーマ

新生児の尿中ヨード検査を 1 歳時検査の時に検査のための採尿依頼をする
ヨード欠乏症の罹患率ゼロを期待する

2. ネパール・ヨード欠乏症対策見直しのための家庭調査とヨード検査

- ・ヨード添加塩の品質検査
- ・尿中ヨードの検査
- ・家庭における食塩消費行動調査
- ・ネパール政府の見直し提言の準備

3. 会員挨拶品 カレンダー2020 作成

4. 助成金団体の開拓

- ・反省
- ・見切りと継続

議案 4. 2019 年度収支計画

「収入の部」

・会費	300,000
・助成金	700,000
・寄附	300,000
計	1,300,000

「支出の部」

・業務委託費	700,000
・一般管理費	500,000
・その他	50,000
計	1,250,000